



議 会

によどがわ

だより

2007.5
第7号



西森重光さん（長者）六〇歳を過ぎて一念発起、刀鍛冶を修行。
これからの夢は百歳まで現役で・・・。

三月定例会

(株)ソニアの試算表の提出を求める……………2P

中止には納得できない（農道吾川東線）…6P

裁判の傍聴に行ったか…11P

町外から通っている職員は…13P

総務教育民生常任委、施設を調査……………31P



「春探し」（名小3・4年生）

高知県仁淀川町議会

TEL 0889 (35) 0111 / FAX (35) 0571 / 発行人: 議長 橋本真一 / 編集: 議会だより特別委員会 / 印刷: 資佐川印刷所

一 般 質 問

間伐促進で 山の再生を！

平成19年3月定例会は、9日に招集され、会期を13日までの5日間とし、9日、諸般の報告（議長、町長、教育長）、常任委員長報告、議案の上程、提案理由の説明。10日（土）、11日（日）休会。12日、一般質問。13日、議案の審議、討論、採決を行い、32議案、議員発議2議案を原案どおり可決、閉会した。



(株)ソニアの
試算表の提出を求める

答 提出できない

問

大原儀郎

ソニアは前年度大変な赤字を出し、多数の議員より質問が出た。町長は急に雇用を増やしたので技術が伴わなかった。十二月に乾燥設備も拡充したので今後は好転すると

答弁したが、その後の経営状況は。

①月々試算表を議会に提出して説明を求める。
②試算表に素材生産部門と、製材部門の区別をして、状況が分かるようにすべきである。
③乾燥設備増設前後の損益比較を数字で説明を。

答

町長

法律で公表を求められている以外の法人情報で、事業運営上、利益を害する恐れのある情報は公開できない。

①②の月々試算表や計算表の内訳は会社の業務に支障を生ずる恐れがあり越知町、佐川町との関係もあって提出できない。③の比較は材料の違いなどもあって、確実な比較は難しいが、月々200万円以上の費用効果は上がっていると思う。



佐川(S) 越知(O) 仁淀(N) 池川(I) 吾川(A)
平成5年、五カ町村で出発した(株)ソニアだが

高等学校のない山間地で子育てをするには、子どもの教育問題が大きな課題だ。経済力の低い仁淀川町で進学させるには七年間大学にやるような経費がかかる。

この対策として現行の奨学資金制度を大きく見

問

大 原

Iターン、Uターンに専従班の設置を

答 要件が整っていない

問

大 原

池川小学校が複式になる。このことは旧吾川、旧仁淀にも言えることだが、このままでは仁淀川町の将来はないと思う。都市には田舎に自然環境を求めてIターン、Uターンを希望する人たちが増えている。これらの受入に専従班を設置してはどうか。

答

町 長

若者が定住でき、子育てができる町づくりは非常に重要な政策課題だ。具体的には、働く場や住居、子育て環境の充実など、さまざまな面で地理的条件不利地である本町は、いずれの点も、負の要素ばかりで、Uターン、Iターンを受け入れる専従班を設置する以前の魅力ある地域づくりの推進が課題だ。

町独自の奨学資金制度を

答 10億円は壮大な考え：

答

町 長

直して、Uターン、Iターンの人にも魅力を感じると、(株)ソニア並の十億円程度の原資を作り運用すれば、子どもが増える地域になる。教育長も思い切った政策を町長に提言をしてみてもどうか。

答

教育長

奨学資金制度が町や県、国にもある。条件や規制はあるが、重複利用も可能だが、返済もあり、借り入れ額にも限度があると思う。

問

大 原

田舎で子育てを希望する人たちに土地付木造住宅を提供し、森林整備の

答

町 長

仕事を与える政策を進めてはどうか。

場所を指定されるとそ

若者定住者に土地付木造住宅の提供を

答 町営住宅で対応

の限りではないが、町営住宅には空室もあり対応できると考えている。

問

大 原

仁淀川町2万5千haの植林に対し、対策が遅れている。林業政策に専従班を設置して推進を図っては。

答

町 長

仁淀川森林組合が実績とデータを持っているので長坂山や別枝の「森の工場」づくりは森林組合にお願いしている。

林業政策の推進を！

答 森林組合に依頼



平成6年、高吾北地区4番目の特養あがわ荘（本村）



何に力を入れるか

答 高齢化対策が急務

問

藤原陽三

国の財政施策のしめつけが一段と厳しくなり、

財政力の弱い地方の自治体が危機感を抱く中、「格差」という言葉が流行っている。

の少ない地方は益々厳しくなり、将来に不安を感じる住民も多い。

十九年度当初予算六十億四千万円は、越知町

答

町 長

の二倍の額で前向きな予算である。仁淀川町として何を重点に置き活性化を図って行くのか。

今、地方と都市との格差が非常に大きいものがある。基盤整備が遅れて

森林整備事業で過疎化に歯止めを

答 積極的に取り組む

問

藤 原

今議会は重要な議会であり、町長として町の方向づけをハード面でもソフト面でも示すことが急務である。国も林業を見直し、間伐事業に対して組織を挙げて支援に取り組む姿が見え始めた。

地球温暖化や災害の防止策として森林の整備、保全に取り組みとして、具体的な支援策が打ち出された。

合併協議会や、住民参加の下に立ち上げた「総

答

町 長

合計画」を活用し、明日につながる事業は積極的に取り入れ、少しでも過疎化に歯止めをかけることが重要だ。

今後の重要施策として、合併に踏み切った地方自治体では改善はあったが、財政は困窮の度合いが増し、更なる財政改革が求められる。地域の要望に応え、必要性の低いものは整理し、経費の削減を行う。町民各位の意識改革も含め、協力が

ばならない。

過疎高齢化が進む本町は、高齢者の生活不安が拡大し、この対策が急務である。町民のニーズを把握、その声を施策に反映し、安心して暮らせる町づくりを目指す。

必要だ。

一方、地域の活力を取り戻すことも急務であり、国や県に、合併市町村の地域振興に係る補助メニューもあり、有効に活用し、過疎高齢化の進行に伴い生じてきたさまざまな課題に取り組む、地域資源を有効に活用した地域振興策を講じ、過疎化の抑止を図ることが急務であり、町づくりを積極的に取り組む。

林業も本町の大きな産業であり、有効に活用し雇用場の確保、地域の活性化を図っていく。



中止には納得できない

(吾川東地区一般農道)

答 財政状況を見ながら

問

福原克彦

この事業は十八年度まで約40%が完成だが、県からは地元で十八年度で打ち切りたい旨の電話のみで、正式な通知はないと聞くが、町には説明があったのか。

採択基準では過疎地域は延長おおむね八〇〇m以上からすると、六二〇mでは適合しないが、一時中止か休止なら関係住民も財政事情から理解できると思うが、関係住民に納得のいく説明を。

町としても説明責任があると思うので、なぜなのか。

答

町長

県より公文書での通知はない。実施済みの延長は六四八mであり、採択

基準延長の八割以上となっており完了となる。十五年度に事業の見直しがあり、この時点で区長への説明はしている。

問

福原

この事業は過疎地域で自然的、経済的、社会的条件に恵まれず、農業の生産条件が不利な地域に該当し、寺村地域と越知町横畠地域を結ぶものだ。また、国道33号が通行止め時の迂回路となり、中止するわけにはいかない。

林道では県営から町営に切り替え実施した経緯がある。農業部門と林業部門の違いはあっても、助役は県農林水産部出身だが今後の対応と、県がだめとしたら町営として継続できないか。

答

助役

厳しい財政の中、町単独の実施は難しいが、土地承諾にトラブルがあり解決を前提に、今後とも県へ要請を行い団体営事業などへ乗り替えの検討を行う。

地域に必要不可欠な道なので、通行の安全性と利便性を考慮し、直営班による路面の整備やコンクリート舗装など検討し対応したい。

問

福原

十五年度に事業の見直しと用地の関係というが、交渉に問題があったのでは。

地権者の中に町外の方がおり用地交渉した地元関係者はうそを言ったことになり、納得しないの

答

産業建設課長

だと言っている。地区世話役はその報告を早くしていたらと思うが、問題の用地について色々耳にする交渉の経緯は。

地元で土地を管理している方に、業者も一回、我々も三回行き最終的に土地は一切通ることはいかんと云われた、相当足

問

福原

を運んだ結果だ。

決まったことを後から言っても仕方がないが、合併しなかった越知町と合併した本町との地域格差は歴然だと住民は嘆いている。

何年かかろうとも一時中止はあっても継続の検討を。県もない袖は振れ

答

町長

ないし、終点側から施行できるので、町長、助役の手腕を関係住民は期待している。やめることはないという言葉を欲しいが。

完全に打ち切りやらない訳ではない。今後、財政状況を勘案しながら検討したい。



農道吾川東線 (大板)



地元産の 食材・建材の利用を図れ

〔答〕 消費拡大に努める



マッシュルーム

問

野村安夫

学校給食及び公共施設の食材調達状況及び、建材の利用状況は、今後地元産の食材・建材の利用を図ることで町の活性化につなげてもらいたい。

答

町長

公共施設などには、地

元材を積極的に用い、その消費拡大とPRに努める。

学校給食への地元農産物の使用は、地産地消に取り組み、町内のトマト、イチゴ、みかん、こんにゃく、マッシュルームなどを利用している。

今後、推進拡大に努め安心安全な給食の提供と併せ地域産食材の消費拡大に寄与していきたい。

農林業に援助を

〔答〕 力を入れている

問

野村

仁淀川町の農林産物は山林と茶、野菜、柑橘類、ゼンマイ及びトマト栽培が主なもののだが、高齢化が進み維持管理が難しくなっている。

生産する意欲がわき、山で生きる力になると思うが。

答

町長

農業部門のハード事業として、道路基盤整備二路線に七千四百万円。ソフト事業に、中山間直接

所得補償・農作業受委託・モノレール設置補助等に、約千九百万円。林業関連に、作業路・間伐等に対する補助、約一億一千二百万円程の補助を計上し、町内の農林業振興支援に力を入れている。

駐車場 十分機能しているか

〔答〕 通常、特段の規制はしていない

問

野村

大崎診療所周辺、役場、中央公民館周辺の駐車場は、現状で十分機能しているか。

設けていない。

多目的広場の平常時利用状況は、町職員、広域職員、JA職員が利用しているほか、住民が来たとき利用している。

今後は、町主催の行事を公民館などで行う場合は、事前に職員への周知を行い教育委員会の許可を受け町民グラウンドに置く努力をする。

問

野村

JRの回転場の利用はどうか知らないか。

答

町長

町営バス及び黒岩観光等が利用しているが、使用時間が限られている。JRとも協議をし、検討していく。

イベントなどがない平常時は、広く住民が一時的に利用。特段の規制は

答

町長



問

片岡政徳

合併一年半が過ぎ地名表示、道路標識が整備されてきたが、池川町と表示地名が少なくなった。道路標識の旧池川町中心部への行き先も土居甲となっている。

池川町の地名は十五世紀頃に定着とあり、大正二年に町制となっている。

池川の地名は歴史があり将来的にも重要で必要と思う。「池川の地名を何らかの形で残すことができないか」といった声もあるが考えは。

答

町長

合併協議会で協議し①字名が長く読みづらい。②旧町村名を残すと、意識が残り一体感の醸成が

池川の地名は残せないか

答 考えていない

阻害される。③地名や学校名、支所名など施設名で残る。④三町村すべての変更は事務など膨大で煩雑となり旧町村名は付けないとした。

は、地方自治法に定めているが、新町発足間もない時期の変更は混乱の恐れもあり、協議内容を尊重し、現時点での変更は考えていない。



道路標識 (川口)

大崎診療所の給食委託の状況は

答 衛生、安全面の確保が可能

問

片岡

大崎診療所の給食委託で経済的向上がされているのか、運営の利便効果は。

答

保健福祉課長

昨年七月一日より給食業務を病院給食専門業者に委託。内容は栄養調理作業、材料、衛生管理で心配な0157等の衛生面も、栄養士の指導で一

貫した管理となり非常時も代行応援で迅速な対応ができています。衛生、安全面の確保が可能になった反面、委託料は増となるが、入院患者には管理の行き届いた給食ができています。

独立した森林課(班)を！

答 総合支所方式では無理

問

片岡

本町の森林の多くは植林が占めている。早急に森林課、または班組織を作り、森林資源を活用し活性化を図る。生活水を取水している谷川、生活道周辺の整備を行い良好な環境作りも必要で、本町には生活環境林伐採事業補助金制度があるが谷川、生活道周辺もその制

答

町長

度を取り入れ、森林整備を積極的に企画し進める窓口としてはどうか。

森林を健全な姿で将来に引き継ぐため適正な管理と資源を有効に活用し活性化につなげることは重要で、国や県の助成事業を有効に活用し、地域林業の振興に積極的に取り組み推進する。

独立した課、班は総合支所方式では難しいと考えるが、現状打開には、計画的かつ着実な森林、林業行政の推進が必要で来年度に向け体制づくりを検討している。県に林業に精通した技術者を要請し決定している。谷川、道路周辺も生活環境林伐採事業補助金制度の取り入れを検討していく。